令和6年度

政策3　多様な移動手段の確保

よくわかる公共事業

県道川原畑大戸線（大柏木川原湯トンネル）トンネル整備事業

事業完了

電子データはこちら▶

どのような未来を目指すための事業か

地域の発展と住民の利便性向上を図るため

トンネルをつくりました

地元の声

・国道406号の一部の道路幅が狭くて危険なので、道路を拡げて安全に通行出来るようにしてほしい。（地元住民）
・川原湯～大柏木間をもっと早く安全に行けるようにしてほしい。　（地元住民）

事業前

◆ 幅員が狭く、すれ違いが難しいことに加え、雨量規制等の交通規制が実施される状況にありました。

通行止標示板

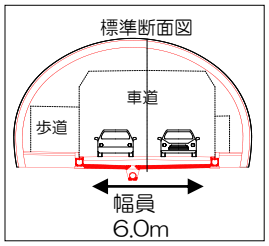
狭い道路(国道406号)

事業前の状況

事業後

◆ トンネルにより、雨量規制等で通行止めとなる交通規制区間を回避した新たな道路ネットワークが確保されました。
◆ トンネル前後の道路と一体となった２車線化と歩道整備により、車両と歩行者の円滑で安全な通行が可能となりました。

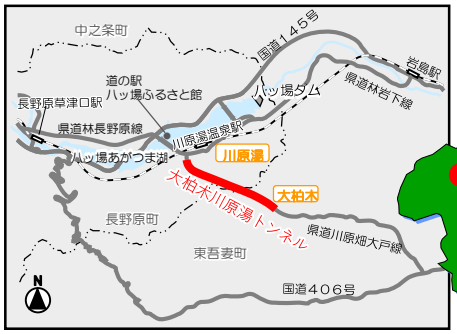
完成後



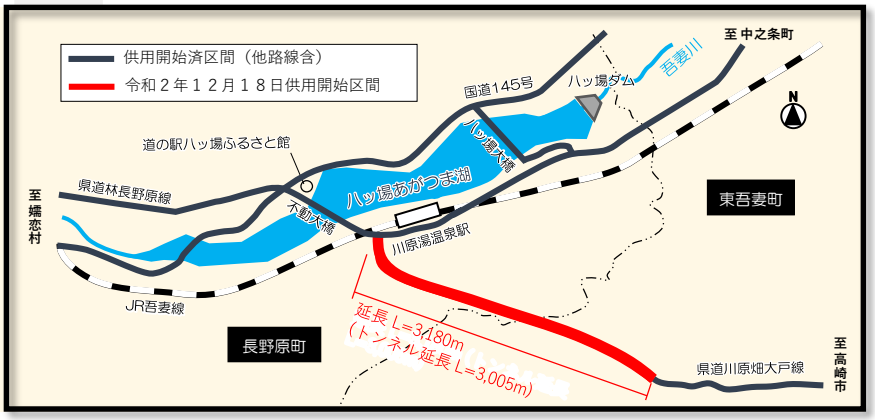
事業後の状況

事業の概要

■ 事業箇所：長野原町川原湯～東吾妻町大柏木
■ 事業内容：トンネル整備
　　延長 3.2km　道路幅 9.75～10.25m
■ 事業期間：平成29年度～令和2年度



事業の進捗状況（令和2年度完成）



今、何をしているか

令和２年度にトンネル整備が完了（令和２年12月18日供用開始）し、長野原町～高崎市間の快適な通行が確保されました。

写真は供用しているトンネル内の写真です。

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――――――――● 事業完了